

ISP&クラウド事業者の集い in 名古屋

開催報告書

日にち：2015年3月12日（木）～13日（金）

場所：ウインクあいち 1102室

主催：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）

地域 ISP 部会・クラウド部会

後援：総務省 東海総合通信局

参加人数：92名

プログラム委員：株式会社クララオンライン 家本賢太郎、株式会社イプリオ 石田卓也、株式会社グローバルネットコア 金子康行、ミテネインターネット株式会社 熊本豊、株式会社クロノス 今野仁史、株式会社クララオンライン 寺尾英作、ソネット株式会社 宮内正久

プログラム：

■3月12日（木）

12:30～受付開始

13:00～13:05 開会挨拶 地域 ISP 部会 部会長 晋山孝善氏

13:05～14:05 「おもしろい体験教育」

七福醸造株式会社 会長 犬塚敦統（いぬづかあつのり）氏

14:05～15:25 「違法・有害情報関係」

児童ポルノサイトブロッキング法の問題

山崎法律事務所 長瀬貴志氏

児童ポルノサイトのブロッキングの導入について

株式会社三菱総合研究所 情報通信政策研究本部

ICT利活用戦略グループ 福島直央氏

15:25～15:40 休憩

15:40～16:00 「インターネットコンテンツセーフティ協会（ICSA）の取り組み」

インターネットコンテンツセーフティ協会 佐川英美氏

16:00～16:50 「電気通信行政の概要」

総務省 東海総合通信局 電気通信事業課 上席企画監理官 太田信之氏

16:50～17:10 「通信・放送事業者間の問題解決をサポート」

総務省 電気通信紛争処理委員会事務局 上席調査専門官 市川憲史氏

17:10～18:40 「インターネットガバナンスについて」

ハイパーネットワーク社会研究所 理事長・所長

多摩大学情報社会学研究所主任研究員 会津泉氏

JAIPA 副会長 立石聡明氏

19:10～21:00 懇親会

■3月13日（金）

- 10:00～11:00 「NTT フレッツ光卸について」
JAIPA 副会長 立石聡明氏
- 11:00～11:50 「消費者保護ルールに関する検討状況と今後の課題・対応について」
JAIPA インターネットユーザー部会 上野敬之氏
- 11:50～13:00 お昼休憩
- 13:00～14:00 「i モードの猛獣使い 会社に 20 兆円稼がせたスーパー・サラリーマン」
元 株式会社 NTT ドコモ 常務取締役・i モード開発担当責任者
(元 NTT ドコモ東海 代表取締役社長) 榎 啓一氏
- 14:00～15:00 「日本初の地域ドメイン「.nagoya」について」
GMO ドメインレジストリ株式会社 代表取締役社長 塚原廣哉氏
- 15:00～15:15 休憩
- 15:15～16:00 「ctc IPv6 接続サービス ～ 提供後開始後のあれこれ」
中部テレコミュニケーション株式会社
サービスオペレーションセンター 水野稔晴氏
- 16:00～18:00 「オープンデータは地域の ISP とクラウド事業者をどう変えるか」
パネルディスカッション
モデレータ：GLOCOM 新谷隆氏
パネラー：株式会社 jig.jp 代表 福野泰介氏
横浜市政策局 政策部政策課担当係長 関口昌幸(よしゆき)氏
静岡県 情報政策課 杉本直也氏
- 18:00～18:30 ご挨拶 名古屋市長 河村たかし氏
- 19:00～ 懇親会

概要：



前回に引き続き「クラウド部会」との共催です。内容は、多岐にわたったプログラムでどんな方々でもどれか当てはまると言う感じのネタがあったのではないかと思います。最初は「おもしろい体験教育」七福醸造株式会社 会長 犬塚敦統（いぬづかあつのり）氏でした。人には重要な「食」について、食生活の現状となぜアトピー、ぜんそくが増えるのか、食との関係をお話いただきました。

現在は食品添加物を用いた食品が多い中、七福醸造は添加物無しで心を込めて作っている。それが自然の味なのであるとのこと。また、犬塚氏が始めた「三河湾チャリティー100km 歩け歩け大会」のお話しです。犬塚氏をご紹介いただいたネットフォレスト 高橋社長のご挨拶にあったように、とても感動する取り組みだとか。なぜ100キロ歩け歩けをし始めたのか。歩くことによって、いままでにない「感動、感激、感謝」が味わえる。とのこと。ゴールを競う事では無く、タイムを競うものではない、歩く人とサポートする人がともに支え合い、助け合う大切さを伝え、感じて貰う。人は自分の悪いこととか人に言われるとなかなか受け入れられないが体験

することで、自分で気がつく。気づきの教育として体験教育を行っているとのこと。年齢を重ねてもなお、元気な会長さんのご講演でした。

「三河湾チャリティー100km 歩け歩け大会」

<http://www.mikawa100km.jp/>

「七福醸造」 <http://www.7fukuj.co.jp/>

次は昨年度、当協会でも各地を回ってセミナーを行いました。今回は三菱総合研究所が担当されるとのことで、今回はISP事業者が多数集まるこの機会に場所の提供をいたしました。「違法・有害情報関係・児童ポルノサイトブロック」の法的問題と導入について、お話しいただきました。またブロックのリストを管理している「インターネットコンテンツセーフティ協会 (ICSA)」の取組についても ICSA 事務局の佐川氏にお話しいただいています。次は、本集い開催にご尽力いただいた「総務省 東海総合通信局」の日々の活動や現在の取組を情報通信部 電気通信事業課 上席企画監理官 太田信之氏にご講演いただきました。電気通信事業者との関わりや無線、インターネットの安全・安心講座 (e-ネットキャラバン)、その他、多方面、様々な取組を行っていることを学びました。また、総務省電気通信紛争処理委員会事務局の市川氏には、通信・放送事業者の紛争関係をサポートする取組がある事をご説明いただきました。

この日最後は、「インターネットガバナンスについて」として当協会立石副会長とハイパーネットワーク社会研究所 理事長・所長 会津泉氏、お二人にご登壇いただきました。会津氏は JPNIC を訴えた中京大学の鈴木氏に呼ばれて先週も名古屋でご講演をされたらしいですが、その時の様子と今後のインターネットガバナンスの取り組み方等についてお話しいただきました。

1日目はこれにて終了です。会場を移動して「名古屋めし」のお店で懇親会となりました。5月27日にクラウド部会主催の CloudConference2015 があるため、クララオンライン寺尾氏による、

概要説明を懇親会の場で行いました。



2 日目は 10 時～開始です。ここ数ヶ月話題に事欠かない「NTT フレッツ光卸」について、JAIPA 立石副会長に今までの経緯、総務省の反応から始まり現状をお話いただきました。会場からかなりの質問なり意見なりあるかと思ったのですが、それほど無く、すでに波に乗る人乗らない人は決まって、沈静化しているのだろうか。引き続き、電気通信事業者には重要な消費者関係の問題「消費者保護ルールに関する検討状況と今後の課題・対応について」です。とにかくこの問題は、勧誘による遠隔操作や、クーリングオフ、事業者の相談窓口設置の関係と電気通信事業者向けの苦情が消費者相談センターに多数来ると言うことで、数年前から問題視されてきています。その対応からガイドライン策定、電気通信事業法改正まで、総務省会議「ICT 安心・安全研究会」の動向を織り交ぜながらお話いただきました。お昼休憩を挟んだ後、「i モードの猛獣使い・会社に 20 兆円稼がせたスーパー・サラリーマン」として、元 株式会社 NTT ドコモ 常務取締役・i モード開発担当責任者の榎 啓一氏にお話いただきました。高校生の時に演劇をしていたと、確かに声を通る。デザートになることを期待された i モードだそうです。i モードを任せられる前はポケベルをやっていて、以前の職場で助けてくれた人や、技術は NEC からいろいろな方々を集めながら出発したとのこと。『7 人の侍』と言う映画に喩えて、前半は「主に侍集めと戦の準備」ということで、榎さんの i モード前半は「リクルーティングの話」。後半が製品を作る話でした。印象的だったのは、「部下が悲しまないように仕事をするように」といわれたらしいです。i モードのコンセプト→i モードはコンビニである。(小売業の世界ではコンビニエンスストア) スーツとか 1 週



間の買い物をできる場所を提供するのではなく、少しの買い物で、来店者数を多く来店頻度を多くと言うコンセプト。そしてデザイン重視、それもパソコンではない「携帯電話」。パソコンと思わると売れないとのことでした。時代・タイミングが大事で、結論は「運」だそうです。(出会い、制度、市場、技術、組織) →体感的確信のもと部下が悲しまないように仕事するとのメッセージをいただきました。次

は名古屋での開催と言うことで、GMO ドメインレジストリ株式会社 代表取締役社長 塚原廣哉氏より、「日本初の地域ドメイン「.nagoya」について」をお話いただきました。2009 年 7 月に GMO レジストリは設立されました。現状のドメイン名登録状況や海外の動向をお話いただいた後、「.nagoya」をどういうスケジュールで申請したか、その時に苦労話を合わせてご紹介いただきました。そして、日本初の地域名ドメイン 2014 年 2 月 20 日に登録開始となったそうです。登録数は 4,268 件でまだまだ認知度が無いことが課題だそうです。休憩を挟んで中部テレコミュニケーション株式会社 サービスオペレーションセンター 水野稔晴氏の「ctc IPv6 接続サービス～ 提供後開始後のあれこれ」として IPv6 問題が出始めた頃、ISP でもあちらこちらで勉強会やセミナーがありました。だいたい前の話になりますが。今回は IPv6 サービスを導入してから 2 年半

経過した中部コミュニケーションのこれまでの経験や統計情報、また困った事例などを細かく公表いただきました。次は、「オープンデータは地域 ISP とクラウド事業者をどう変えるか」として、パネルディスカッションでした。モデレータは当初予定の新谷氏が急な都合のためいらっしゃれず、イプリオ株式会社石田卓也氏が急遽モデレータを引き受けてくださいました。パネラーは株式会社 jig.jp 代表 福野泰介氏、横浜市政策局 政策部政策課担当係長 関口昌幸氏、静岡県情報政策課 杉本直也氏です。県、市、民間の3つの違った立場、視点から、地方とクラウドとオープンデータの話をしていただきました。

その後、クララオンライン 家本氏のご尽力により、河村名古屋市長においでいただきご挨拶頂戴しました。ありがとうございました。



これで2日目は終了です。講演の資料については、許可をいただいた方のみ Web にて掲載しておりますので、ご興味のある方はご覧ください。毎回開催する毎に様々なことが起きますが、開催前の集客が少ない状況がふたを開けてみれば「あら」と言うことが多く、あの心配はなんだったのだろうと、ホッと一息するのもしばしばです。今回も92名とたくさんの方々にお集まりいただきました。ありがとうございました。翌日にメールの返信で「いかに ICT 技術が進歩していても「心のネットワーク」の繋がりを深め物事（仕事や趣味等）を行っていくには、やはり関係者一同が集まり、その上で、お話しをし、議論をし、酒を酌み交わすことが、これからも大切であることを今回の集いで、再確認することができた。」という言葉をいただき、開催してよかったと思いました。それぞれが、セミナーをもとに懇親会へ参加、飲みながらわいわいする。嫌う人もあるかもしれませんが、これがないと JAIPA ではない、と思っております。



ぜひ、お気軽に皆さんに参加していただければと思います。プログラム委員を始めご尽力いただいた方々には、大変ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。次回もなにとぞ、よろしく願いいたします。(M)